

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和5年度 入間市公民館運営審議会 (第2回)
開 催 日 時	令和5年12月14日 (木) 午前10時00分 開会 ・ 午前11時15分 閉会
開 催 場 所	入間市役所 4階大会議室
議 長 氏 名	西澤裕子
出席委員(者)氏名	今泉大二郎 西澤裕子 中西一敏 塚原とみ子 双木茂芳 岡崎幸子 木下英次 小山輝久 開坂武
欠席委員(者)氏名	伊與田麻利
説明者の職氏名	社会教育課主幹 奥村芳人
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 委員長挨拶 3 協議事項 4 報告事項 5 その他 6 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1名
配 布 資 料	1 入間市の地域学校協働活動の現状・今後 2 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進 3 すでに実施している地域学校協働活動の実例 4 令和5年度各公民館事業中間報告書 (令和5年4月1日～8月31日) 5 第2次公民館基本計画 (令和4年度～令和8年度)
事務局等職員職氏名	教育部部長 浅見嘉之、次長 佐藤政史、 社会教育課長 浅川英雄、主幹 奥村芳人、副主幹 片寄智恵 主任 新井竣介
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

○概要

下記の点について事務局より説明を行う。内容について運営審議委員より確認等のある場合は、質疑応答を行う。

今回審議において特に議決すべき案件はなく、委員及び事務局との間の質疑応答と各委員の意見提出のみが行なわれた。

(質疑応答の詳細については、会議録(3)による)

(1) 協議事項

- ①「すでに実施している地域学校協働活動の実例」及び「各公民館事業計画」
からみた公民館が今後行うべき事業、担うべき役割について

(2) 報告事項

- ①令和5年度各地区文化祭報告について
- ②入間市民吹奏楽団定期コンサートの実施について
- ③美術協会小品展の実施について

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
	<p>※委員発言が行われた部分のみ記述する。</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>本日の出席委員は9名で会議は成立する。それでは、協議事項「すでに実施している地域学校協働活動の実例」及び「各公民館事業計画」からみた公民館が今後行うべき事業、担うべき役割について事務局から説明願う。</p>
<p>奥村主幹</p>	<p>(「すでに実施している地域学校協働活動の実例」及び「各公民館事業計画」からみた公民館が今後行うべき事業、担うべき役割について説明)</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>ただ今の説明について、質問等はあるか。</p>
<p>木下委員 (藤沢公民館)</p>	<p>協議事項資料3ページ 学校運営協議会の説明について、令和5年度より実施していると記載されている。私は藤沢文化協会会長であるが、学校運営協議会を実施していることを初めて知った。すでに実施しているものなのか。</p>
<p>浅川課長</p>	<p>学校教育課が所管しており、各中学校区で実施している。</p>
<p>木下委員 (藤沢公民館)</p>	<p>各中学校で実施しているということによろしいか。資料では、学校運営協議会を組織して協議等を行っているという点に疑問を感じる。</p>
<p>浅川課長</p>	<p>社会教育課で把握している情報は、学校運営協議会の組織人数が、10人程度であり、各中学校区単位で会議等を実施しているという点である。現在どのように組織を運営しているか等を学校教育課と確認及び協議したうえ、次回の会議に報告する。</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>他に質問等はあるか。</p>
<p>開坂委員 (西武公民館)</p>	<p>現在、公民館サークルで活動している団体については、サークル活動中等のケガが発生した場合、公民館総合補償制度で補償される。しかし、物損については補償されておらず、例えば文化祭実施時に、作品が落下し破損した場合は適用外となる。その点を補償するため、西武地区センターでは、文化祭実行委員会で保険に加入するかどうかを検討した。来年度から文化祭を実施するにあたって、もしもの時のために、物損に対しての保険を社会教育課で検討していただきたい。</p>

発 言 者	発 言 内 容
西澤議長 (黒須公民館)	他に質問等があるか。(質問等なし) 各委員1名ずつ、ご意見をいただきたい。
岡崎委員 (宮寺公民館)	宮寺公民館運営委員になっているが、11月に第1回の会議を実施したこと以外、何もしていない状況である。この運営委員会について、具体的にどのような組織なのかを確認したい。さらに、今まで介護施設を会場に子ども食堂を実施していたが、地区センターとのつながりを強化するために、地区センターだよりに掲載できないかを職員に相談した。しかし、地区センター長にその話が至っておらず、トラブルになったことがあった。地区センターとの話し合いの結果、11月1日号の地区センターだよりに掲載するという事となった。団体と地区センターが円滑に事業を推進するためには、団体が事業を実施し、地区センターは後援というやり方が、つながりを作るという意味で一番いいと考える。宮寺・二本木地区は、他と比較すると事業数が少なく、地区センターとのつながりを増やすことが重要であると感じている。
浅川課長	担当課に確認し、内容によっては全地区センターに指導を行う。つながりを増やすために、どのように実施するか決まっていないが、団体と地区センターの話し合いの場を設けることを検討する。
西澤会長 (黒須公民館)	入間市公民館運営審議会について、改めて事務局から説明願う。
奥村主幹	入間市公民館運営審議会は、教育関係者から1名、各地区運営委員会の代表者計10名から組織されている。事務局としては、この話し合いの内容を、各地区運営委員会で情報共有することを目的の一つと認識している。
小山委員 (東藤沢公民館)	今回の会議の内容を地区センター長と情報共有を行い、現在計画している事業や学校問題との整合性等を確認する。地域の団体としては、できる限り地域に尽くしていると認識しているが、まだできることがあると外部から言われることがある。このような問題を解決するためには、地区センター長と団体が円滑に話し合える関係を築く必要があると認識している。東藤沢地区は、比較的高齢者が多い地区であり、高齢者が元気に暮らしていくための事業やスポーツを推進する必要がある。令和5年度に2回実施した。これから、高齢者が外に出る機会を作り、語り合いの場になるような事業を企画している。
双木委員	金子地区は、学校運営協議会をすでに数回実施している。保険の関係では、金

発 言 者	発 言 内 容
(金子公民館)	<p>子地区大運動会を連合区長会の後援をもらい、何かあった時は区長会の保険を適用できる仕組みとしている。さらに、金子地区で駅伝大会を企画しており、公民館総合補償制度が適用できるものかという点を地区センター長と調整している。令和5年4月より地区センター化が始まったが、いまでも公民館がどこにあるのかと聞く市民が多くいるように感じるため、地区センターについての周知を強化する必要があるのではないか。金子地区も高齢化が進んでおり、3月に行われる芸能発表会の参加者は、今まで50人位であったが、今回から25人程度になる見込みである。</p>
塚原委員 (東金子公民館)	<p>新型コロナウイルスが流行したことから、運営委員会の実施回数が減少したため、地区センターへ足を運ぶ機会が少なくなった。それにより、地域や地区センターとのつながりがより重要であると感じた。</p>
中西委員 (東町公民館)	<p>東町地区センターの事業実施状況については、計画通り実施されていると認識している。今年度も文化祭を実施し、動の部では、各団体が発表を行い、静の部では、絵画・生花・お面や仏像彫刻を展示した。私自身こうあってほしいと考えている内容は、管轄自治会と地区センターとの協議の場を作ることである。</p>
今泉委員 (金子中学校長)	<p>学校運営協議会について、私から概要及び現状を補足説明する。令和5年4月から、市内16小学校及び11中学校が、学校運営協議会を組織した。学校区によって組織のされ方に違いはあるが、組織の中に、学校長とPTA会長が協議会委員となっている必要がある。その他の委員については、各地区の実情にあわせて選出することができる仕組みとなっているため、3ページの説明はあくまで一例である。どの学校区も最低2回は実施しており、金子の場合は、第1回に学校運営の基本方針について、協議会から承認をいただいた。第2回は、学校運営に対する意見や地域の安全・安心についての意見を交換した。現在、生徒数の減少に伴い、グラウンドの除草作業などが学校だけではできなくなっていたが、金子スポーツ協会の方々に協力してもらい、除草作業を行った。生徒が地区の活動に参加した事例としては、11月に行われた防災訓練での手伝いや、地区センターなどの清掃活動をしたことである。</p>
西澤議長 (黒須公民館)	<p>今泉委員の説明でよくわかったが、地区センターからこのような情報が提供されない点については、今後解決する必要がある。ほかに質問等はあるか。</p>
木下委員	<p>藤沢地区センターの施設について、提案したいことがある。現在、住民票等を</p>

発 言 者	発 言 内 容
(藤沢公民館)	<p>発行に来た市民が、発行完了まで外のスペースで待っており、場合によっては、職員が外に行き、聞き取りを行ってから事務室内で作業をしている。理由は、住民事務を行う事務室の裏に、包括支援センターの事務室があり、相談内容によっては合理的な配慮が必要なためである。しかし、藤沢包括支援センターの利用者は、現状少ないように感じる。一方は利用者が少なく、他方は利用されている状況に見えるため、現在どれだけ利用されているかを検証する必要があるのではないか。さらに、私自身、地域づくり担当事務室で打ち合わせや話し合う機会があるが、職員の机に案内されることが多く、一般市民に見せてはいけない書類などが目に入ることがある。地区センター開設よりもうすぐ1年経つため、地区センター化に伴い、良くなった点または改善すべき点を把握する必要があるように感じる。</p>
<p>開坂委員 (西武公民館)</p>	<p>今まで、住民事務機能と公民館機能は、支所長と公民館長で業務をこなしていたが、地区センター化が開始されたことに伴い、センター長は、公民館関係や住民事務関係などたくさんの業務を一人でこなす必要がある。業務量が増加していることに伴い、なかなかゆっくり話を聞いてもらえる機会が少なくなったことから、支所長と公民館長を復活させてもいいのではないかと思う。</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>他に意見はあるか。 次に、報告事項について事務局から説明願う。</p>
<p>奥村主幹</p>	<p>(報告事項について説明)</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>今の報告について、質問はあるか。質問なしのため、その他で何かあるか。</p>
<p>木下委員 (藤沢公民館)</p>	<p>今回、会議に使う事前資料が前日に届いたため、次からは数日前までに、届くように配慮してほしい。</p>
<p>西澤議長 (黒須公民館)</p>	<p>他に何かあるか。(質問なし) 以上で本日の議題は全て終了し、議長の座を下りる。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和6年3月 5日</p> <p>議 長 の 署 名 <u>西澤裕子</u></p>

